

募集人員・出願方法

本学では、特別選抜として学校長（出願要件を満たす教育施設）の推薦に基づき、入学定員の一部について、次のとおり入学者選抜を実施します。

1. 募集人員

学 部	学 科 ・ 課 程 ・ 専 攻		募 集 人 員	
教育学部	小学校教員養成課程		30人	
	中学校教員養成課程	理 科	5人	
		技 術	2人	
		家 庭	2人	
	特別支援教育教員養成課程		6人	
養護教諭養成課程		8人		
医学部	医 学 科		(一般) 15人	(地域) 5人
	保健学科	看 護 学 専 攻	18人	
		放射線技術科学専攻	9人	
		検査技術科学専攻	9人	
薬学部	薬 学 科		10人	
	創薬・生命薬科学科		10人	
工学部	土 木 建 築 学 科		26人	(イ) 各学科 若干名
	機 械 数 理 工 学 科		21人	
	情 報 電 気 工 学 科		30人	
	材 料 ・ 応 用 化 学 科		34人	
合 計		240人		

(備考)

1. 教育学部中学校教員養成課程（技術）の募集人員2人は、職業教育（工業・農業系）を主とする専門高校（学科）又は職業教育（工業・農業系）を主とする総合学科の出身者を対象としています。
2. 医学部医学科（地域枠）の募集人員5人は、熊本県内高等学校の出身者で熊本県医師修学資金の貸与を受ける者を対象としています。
3. 工学部（イ）の募集人員若干名は、工学部（ア）の募集人員の枠内とし、職業教育を主とする専門高校（学科）及び総合学科の出身者を対象としています。
4. 学校推薦型選抜の入学手続完了者が募集人員に満たない場合（合格者が募集人員に満たなかった場合も含む）は、その不足する人員を前期日程の募集人員に加えます。

※ 医学部医学科の募集人員について

医学部医学科では、本来、入学定員（募集人員）が105人のところ、令和3年度（2021年度）入試における入学定員（募集人員）は110人（一般選抜（前期日程）：90人、学校推薦型選抜Ⅱ：20人（一般枠：15人、地域枠：5人））となっています。これは、熊本県内の地域医療に志のある学生の入学を推進し、地域等における医師不足を解消することを目的として、学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠）において5人の臨時定員増員を行っているためです。

臨時定員増員に関する令和4年度（2022年度）入試以降の取扱いは、当該時点における医師養成数の将来見通しや定着状況を踏まえて判断されることになっているため、現時点で延長の有無は未定です。

なお、本件については、詳細が決まり次第、本学ウェブサイトで情報を更新していきますので、随時確認するようにしてください。（<https://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/gakubunyushi> 参照）

※ 工学部の教育プログラムについて

工学部では、4学科で学生を募集し、学科単位で選抜を行いますが（総合型選抜を除く。）、入学者は2年次進級の際にさらに学科毎に3つの教育プログラムに分かれて所属します。各教育プログラムの受け入れ可能な人数には制約があり、教育プログラムへの配属は希望と1年次の成績に基づいて決定されます。同一学科内であっても、配属される教育プログラムによって取得可能な資格等に違いがありますので注意してください。（<https://www.eng.kumamoto-u.ac.jp/department/> 参照）

2. 出願方法

国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す選抜、課さない選抜を含めて）へ出願できるのは、一つの大学・学部・学科に限られています。

したがって、本学の学校推薦型選抜に出願した者は、他の国公立大学が実施する学校推薦型選抜に出願することはできません。

※公立大学協会ウェブサイト（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照

2. 医学部 医学科 (一般枠)

(1) 募集人員

医学科 15人

(2) 推薦の要件

推薦人員は、一つの学校から1人とします。ただし、熊本県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県の学校については、2人以内とします。

なお、学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠）との併願はできません。

志望学科への入学の意志が強固な者で、次の1)～4)の全ての要件を満たすもの

1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和3年3月卒業見込みの者（令和2年度中に卒業を認められる者を含む。）
- ② 高等専門学校の第3学年を令和3年3月修了見込みの者
- ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和3年3月修了見込みの者（令和2年度中に修了を認められる者を含む。）

2) 上記1)の教育施設における学習成績の状況が4.0以上であって、人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者

3) 令和3年度大学入学共通テストの5教科7科目以上（「(3) 選抜方法」参照）を受験した者

4) 合格した場合、入学することを確約できる者

(3) 選抜方法

大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書（800字程度）及び面接の成績により総合的に判定します。

大学入学共通テストで受験を要する教科・科目

学 科	教 科 ・ 科 目
医 学 科	国 : 国語……1 地歴 : 世B, 日B, 地理B 公民 : 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数 : 数I・数A……1 数II・数B, ※簿, ※情報から1 } 2 理 : 物理, 化学, 生物から2 外 : 英, 独, 仏, 中, 韓から1 <div style="text-align: right;">[5教科7科目]</div>

(注) 1. 「地歴」及び「公民」の教科について、2科目を受験している者の成績は、第1解答科目の成績を採用します。

2. 「地歴」及び「公民」の教科について、第1解答科目が医学科の指定した利用教科・科目でなく、第2解答科目が医学科の指定した利用教科・科目である場合は、当該利用教科・科目を「0点」として取扱います。

3. 大学入学共通テストで受験を要する教科・科目欄中※印の科目を選択解答できる者は、出願要件となる教育施設においてこれらの科目を履修した者に限ります。

(4) 評価基準・配点

1) 評価基準

【面接】

医学科の教育を受けるために必要な基礎学力，科学的・知的探究心，医学に対する熱意と適性，柔軟な思考力，高等学校における活動状況を参考とします。

調査書，推薦書及び志望理由書を参考にしながら，複数の面接官による個人面接を実施します。

2) 配点

区分 学科	大学入学共通テスト					個別学力検査等		合計	
	教科・科目等					計	面接		計
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語				
医学科	200	100	200	200	200	100	15	15	115
	合計点を100点に換算する								

※大学入学共通テストで課す「外国語『英語』」については，リーディング100点満点を200点満点に，リスニング100点満点を50点満点に換算し，その合計点を200点満点に圧縮したうえで，学科における配点のとおり換算します。

また，大学入学共通テスト（特例追試験）の受験者については，「外国語『英語』」の筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を200点満点に圧縮したうえで，学科における配点のとおり換算します。

なお，リスニング免除者及び英語以外の「外国語」受験者については，リーディング100点満点を200点満点に換算し，学科における配点のとおり換算します。

(5) 合否判定基準

- 1) 令和3年度大学入学共通テストの 5教科7科目以上を受験し，かつ，7科目合計点の80%以上を得た者を対象に，総得点の高い順に募集人員の範囲で合格者を決定します。
- 2) 面接について，複数の面接官が最低の評価点を与えた場合，合格としません。

(6) 試験日時等

- 1) 日時 令和3年2月6日(土) 集合時間 12時30分
- 2) 試験場 熊本大学医学部医学科 熊本市中央区本荘1丁目1番1号

※ インターネット出願登録システムから出力した本学の受験票（学校推薦型選抜Ⅱ用）及び「大学入学共通テスト受験票」を持参してください。

[本件に関する問合せ先]

熊本大学医薬保健学系事務課医学事務チーム教務担当 電話：096-373-5027

3. 医 学 部 医 学 科 (地域枠)

(1) 募集人員

医 学 科 5 人

(2) 推薦の要件

熊本県内の高等学校から募集し、推薦できるのは一つの学校から2人以内とします。

なお、学校推薦型選抜Ⅱ（一般枠）との併願はできません。

推薦要件は、志望学科への入学の意志が強固、かつ将来、熊本県の地域医療を目指す者で、次の

1)～4)までの全ての要件を満たすもの

- 1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和2年3月以降に卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者
- 2) 上記1)の教育施設における学習成績の状況が4.0以上であって、将来、熊本県の地域医療において中心的役割を担う人材であると判断でき、人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者
- 3) 令和3年度大学入学共通テストの5教科7科目以上（「(3)選抜方法」参照）を受験した者
- 4) 合格した場合、熊本県医師修学資金の貸与を受け入学し、在学中は継続して貸与を受けることを確約できる者（注）

（注）卒業後の決められた一定期間、熊本県知事が指定する地域の病院等で勤務していただきます。

(3) 選抜方法

大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書（地域医療に対する抱負や意見について800字程度）及び面接の成績により総合的に判定します。

大学入学共通テストで受験を要する教科・科目

学 科	教 科 ・ 科 目
医 学 科	国 : 国語……1
	地歴 : 世B, 日B, 地理B
	公民 : 現社, 倫, 政経, 倫・政経
	数 : 数Ⅰ・数A……1
	数Ⅱ・数B, ※簿, ※情報から1
	理 : 物理, 化学, 生物から2
外 : 英, 独, 仏, 中, 韓から1	
	[5教科7科目]

(注) 1. 「地歴」及び「公民」の教科について、2科目を受験している者の成績は、第1解答科目の成績を採用します。

2. 「地歴」及び「公民」の教科について、第1解答科目が医学科の指定した利用教科・科目でなく、第2解答科目が医学科の指定した利用教科・科目である場合は、当該利用教科・科目を「0点」として取扱います。

3. 大学入学共通テストで受験を要する教科・科目欄中※印の科目を選択解答できる者は、出願要件となる教育施設においてこれらの科目を履修した者に限ります。

(4) 評価基準・配点

1) 評価基準

【面接】

医学科の教育を受けるために必要な基礎学力，科学的・知的探究心，医学（地域医療を含む）に対する熱意と適性，柔軟な思考力，高等学校における活動状況を参考とします。

調査書，推薦書及び志望理由書を参考にしながら，複数の面接官による個人面接を実施します。

2) 配点

学科	大学入学共通テスト					計	個別学力検査等		合計
	教科・科目等						面接	計	
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語				
医学科	200	100	200	200	200	100	30	30	130
合計点を100点に換算する									

※大学入学共通テストで課す「外国語『英語』」については，リーディング100点満点を200点満点に，リスニング100点満点を50点満点に換算し，その合計点を200点満点に圧縮したうえで，学科における配点のとおり換算します。

また，大学入学共通テスト（特例追試験）の受験者については，「外国語『英語』」の筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を200点満点に圧縮したうえで，学科における配点のとおり換算します。

なお，リスニング免除者及び英語以外の「外国語」受験者については，リーディング100点満点を200点満点に換算し，学科における配点のとおり換算します。

(5) 合否判定基準

- 1) 令和3年度大学入学共通テストの **5教科7科目以上を受験し，かつ，7科目合計点の78%以上を得た者を対象に**，総得点の高い順に募集人員の範囲で合格者を決定します。
- 2) 面接について，複数の面接官が最低の評価点を与えた場合，合格としません。

(6) 試験日時等

- 1) 日時 令和3年2月6日(土) 集合時間 12時30分
- 2) 試験場 熊本大学医学部医学科 熊本市中央区本荘1丁目1番1号

※ インターネット出願登録システムから出力した本学の受験票（学校推薦型選抜Ⅱ用）及び「大学入学共通テスト受験票」を持参してください。

〔本件に関する問合せ先〕

熊本大学医薬保健学系事務課医学事務チーム教務担当 電話：096-373-5027

「熊本県医師修学資金」について

学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠）による合格者は，熊本県医師修学資金の貸与を受けていただきます。この修学資金は，医師が不足している地域の医師確保を目的としたものです。貸与を受けた方は，熊本県医師修学資金貸与医師キャリア形成プログラム（熊本県医師修学資金貸与条例，熊本県医師修学資金貸与医師の勤務等に関する要綱で規定）の対象となり，大学卒業後には貸与を受けた期間の1.5倍に相当する期間（6年間貸与を受けた場合は9年間），熊本県知事が指定する医師不足地域の病院等で勤務していただきます。（この期間には，熊本県内の医療機関で行う2年間の初期臨床研修，1年間の後期研修の期間を含みます。）必要な勤務期間を満了すると，貸与を受けた修学資金の返還が免除されます。なお，当該指定病院等で医師業務に従事しなかった場合等，被貸与者となった後，熊本県医師修学資金貸与条例第8条に規定する事項に該当した場合，貸与を受けた修学資金の額に利息を加えた額を一定期間内に一括して返還する必要がありますのでご注意ください。

- ・ 貸与内訳：入学料相当額（1年生のみ），授業料相当額，生活費相当額（月額75,000円）
（6年間で約900万円程度の貸与となります。）

熊本県医師修学資金の詳しい内容については，以下の問合せ先へお尋ねください。

〔問合せ先〕熊本県医療政策課（電話）096-333-2204

熊本県医師修学資金制度の お知らせ



推薦入試Ⅱ（地域枠）による合格者は、熊本県医師修学資金の貸与を受けていただきます。この修学資金は、医師が不足している地域の医師確保を目的としたもので、大学卒業後の一定期間、知事が指定する地域の病院等*で勤務した場合は、修学資金の返還が全額免除されます。

※知事の指定する病院及び診療所で、熊本県内の公的な医療機関を中心とした35施設

1 貸与内容

対象者	熊本大学医学部医学科推薦入試Ⅱ（地域枠）入学者 ※熊本県内の高等学校からの推薦者が対象 ※選抜は熊本大学が実施
貸与額 （定額）	① 入学料相当額 282,000 円 （入学年度のみ） ② 授業料相当額 535,800 円 （年額） ③ 生活費相当額 75,000 円 （月額） ※6年間の貸与総額見込み： 8,896,800 円
定員数	5人

2 返還免除の要件等

貸与期間と 義務年限*	貸与期間：入学年度の4月から、大学を卒業する日の属する月 義務年限：貸与期間の1.5倍に相当する期間 ・貸与期間：6年間の場合 ⇒ 義務年限：9年間 ※大学卒業後、知事指定病院等で医師として勤務する期間
返還免除の 要件	① 大学卒業後、2年以内に医師の免許を取得すること。 ② 医師免許取得後、直ちに条例で定める病院（熊本大学医学部附属病院又は県内の基幹型臨床研修病院）で臨床研修に従事すること。 ③ 臨床研修修了後、直ちに知事が指定する病院等に勤務すること。 ④ 返還免除に必要な指定病院等での勤務期間を満たすこと。 等

3 申請方法

申請書類	熊本大学医学部医学科推薦入試Ⅱ（地域枠）の合格者に対して、手続案内を送付しますので、「貸与申請書」「誓約書」「住民票の写し」を提出してください。
提出先	〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号 熊本大学生命科学系事務課 医学事務チーム教務担当
申請期間 （予定）	3月

4 医師修学資金貸与医師のキャリアパス例

パターン①（最短の9年間で返還免除となる場合）



パターン②（義務年限期間外の後期研修を受ける場合）



※ 新専門医制度における専門医資格取得のために、1年を超えて後期研修を受けることができますが、義務年限期間に算入できるのは、県内医療機関での1年間までです。

5 知事が指定する病院等

第1グループ

	医療圏	開設者区分	種別	名称
1	有明圏域	荒尾市	病院	荒尾市民病院
2		地方独立行政法人	病院	公立玉名中央病院
3	鹿本圏域	山鹿市	病院	山鹿市民医療センター
4	菊池圏域	独立行政法人	病院	国立病院機構熊本再春医療センター
5	八代圏域	独立行政法人	病院	労働者健康安全機構熊本労災病院
6		独立行政法人	病院	地域医療機能推進機構熊本総合病院
7	芦北圏域	水俣市	病院	国保水俣市立総合医療センター
8	球磨圏域	独立行政法人	病院	地域医療機能推進機構人吉医療センター
9	天草圏域	医師会	病院	天草郡市医師会立天草地域医療センター
10		独立行政法人	病院	地域医療機能推進機構天草中央総合病院

第2グループ

	医療圏	開設者区分	種別	名称
1	阿蘇圏域	阿蘇市	病院	阿蘇医療センター
2		南小国町・小国町	病院	小国公立病院
3	上益城圏域	山都町	病院	山都町包括医療センターそよう病院
4	球磨圏域	あさぎり町・多良木町・湯前町・水上村	病院	球磨郡公立多良木病院
5	天草圏域	上天草市	病院	上天草市立上天草総合病院
6		天草市	病院	国民健康保険天草市立河浦病院
7		天草市	病院	国民健康保険天草市立新和病院
8		天草市	病院	天草市立栖本病院

第3グループ

	医療圏	開設者区分	種別	名称
1	熊本医療圏	熊本県	病院	こころの医療センター
2	宇城圏域	独立行政法人	病院	国立病院機構・熊本南病院
3		熊本県	病院	こども総合療育センター
4		宇城市	病院	宇城市民病院
5	有明圏域	恩賜財団	病院	済生会みすみ病院
6		地方独立行政法人	病院	玉名地域保健医療センター
7		和水町	病院	国民健康保険和水町立病院
8	菊池圏域	医師会	病院	菊池郡市医師会立病院
9		独立行政法人	病院	国立病院機構・菊池病院
10	八代圏域	医師会	病院	八代市医師会立病院
11		医師会	病院	八代北部地域医療センター
12	天草圏域	天草市	病院	天草市立牛深市民病院
13		医師会	病院	天草郡市医師会立葦北医師会病院
14	阿蘇圏域	産山村	診療所	産山村診療所
15	八代圏域	八代市	診療所	八代市立椎原診療所
16	天草圏域	上天草市	診療所	上天草市立湯島へき地診療所
17		天草市	診療所	国民健康保険天草市立御所浦診療所

6 その他 地域医療の現場では、保健や福祉、行政等の関係者とも密に連携し、医療の面から地域をコーディネートする役割を持った総合診療専門医の活躍が期待されています。修学資金貸与学生等を対象にしたゼミ、実習、セミナー等へは、できる限り参加をお願いします。

7 問い合わせ先 熊本県 医療政策課
電話 096-333-2204（直通）
E-mail: iryoseisaku@pref.kumamoto.lg.jp



©2010 熊本県 くまモン

令和3年2月22日

報道機関各位

熊本大学

熊本大学医学部医学科の入試制度が変わります

熊本大学医学部医学科では、令和4年度入学者選抜より、学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）において、新たな入試区分として「熊本みらい医療枠」（募集人員10人）を設定いたします。また、このことに伴い、各選抜区分の募集人員を下記のとおり変更します。

その背景や趣旨については、別紙をご参照ください。

なお、これらの変更について、高等学校関係者へ広く周知し理解を深めていただけるよう、3月下旬に高等学校等の進路指導担当教員等を対象とした説明会を開催する予定です。広く一般の方へお知らせいただきますようよろしくお願いいたします。

記

【医学部医学科における入学定員等】

年度	令和3年度入試 (令和2年度に実施)		令和4年度入試 (令和3年度に実施)	
入試区分	一般選抜 (前期日程)	学校推薦型 選抜Ⅱ (大学入学共通 テストを課す)	一般選抜 (前期日程)	学校推薦型 選抜Ⅱ (大学入学共通 テストを課す)
入学定員	110人		110人(予定)*1	
募集人員	<u>90</u> 人	<u>20</u> 人 (内訳) ・一般枠 <u>15</u> 人 ・地域枠 <u>5</u> 人	<u>87</u> 人(予定)	<u>23</u> 人(予定) (内訳) ・一般枠 <u>5</u> 人 ・熊本みらい医療枠 <u>10</u> 人 ・地域枠 <u>8</u> 人

*1 令和4年度の入学定員については、文部科学省、厚生労働省から、「医療従事者の需給に関する検討会医師需給分科会」における議論を踏まえて、暫定的に令和2・3年度と同様の方法で設定し、臨時定員が維持される方針であることが通知されており、本学においても入学定員5人の臨時定員を維持することを計画しております。

今後、文部科学省大学設置・学校法人審議会での審議を経て、臨時定員の維持が認められた場合は、令和4年度の入学定員（募集人員）は令和2・3年度に引き続き110人となる予定です。

【お問い合わせ先】

熊本大学医薬保健学系事務課
医学事務チーム教務担当
担当：松崎
TEL：096-373-5027

熊本大学医学部医学科学学校推薦型選抜Ⅱにおける
「熊本みらい医療枠」の導入及び「地域枠」の増員について

背 景

- ① 熊本県全体の医師数は全国平均を上回っていますが、その実情は、県内の地域によって医師の偏在が著しく、しかも医師が少ない地域の医師は、高齢化が進行している傾向が見られます。このような状況を踏まえ、2020年3月に策定された熊本県医師確保計画においては、本学病院、県医師会、関係医療機関及び県が連携し、「オール熊本で医師を育て地域を支える」を基本方針に掲げ、地域に定着する医師を増やすことを目指しています。
- ② これまで本学においては、熊本県医師修学資金の貸与を受け、卒業後の一定期間、知事が指定する地域（僻地）の病院で勤務することを条件とした「地域枠」（定員5人）を導入するとともに、地域枠以外の入試制度による入学者を対象として、熊本県医師修学資金貸与者の募集（募集人員5人）を行ってきました。しかしながら、この制度への応募が少なく、2019年度に募集が停止されたことから、将来、地域医療を担う医師が不足することが懸念されています。
- ③ 本学では医学研究を志す者を増やすことに力を入れており、本学大学院への進学率を高め、若手医学研究者及びリサーチマインドに富む臨床医を育成したいと考えています。

これらの背景を踏まえ、以下の趣旨に基づき、医学部医学科の入試制度を変更いたしました。

趣 旨

- これまでの「地域枠」の定員を8人に増員するとともに、新たに、出願資格を熊本県出身者に限定し、かつ、卒業後の進路条件を緩やか（勤務する地域病院の選択肢を拡大）にするなど、多様性のある「熊本みらい医療枠」を導入することで、引き続き熊本県に定着し、地域医療を担う人材の確保に貢献します。
- 将来医学研究者及びリサーチマインドに富む臨床医を目指す医師を育成する観点から、「熊本みらい医療枠」入学者の卒業後の進路条件の選択肢に「本学大学院への進学」を加えることにより、熊本の未来の医療や臨床医学研究を推進・牽引する人材の育成を図ります。